

園の保育目標

- ・心身ともに健康で友達と元気に遊べる子ども
- ・自ら考え、学び、行動できる子ども
- ・のびのびと自己表現できる子ども
- ・思いやりの気持ちを持てる子ども
- ・自分の思いを伝え仲間と協力できる子ども

クラスの保育目標

- ・簡単な言葉やしぐさで自分の気持ちを伝え、十分に受け止められることで安定した生活を送り、友達や保育者と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- ・保育者に見守られながら、自分の身の回りのことをやってみようとする意欲をもつ。

戸外遊び

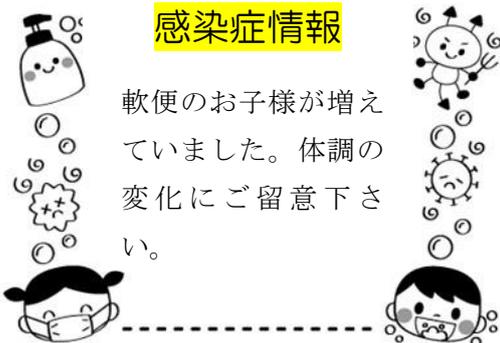
お外が大好きなかもめ組の子ども達。砂遊び、虫探し、草花集め、坂道遊び、追いかっこ、探索遊び等…一人ひとりが好きな物、興味のある物を見つけて笑顔で遊ぶ姿が見られています。そんな遊びの中で、電車を見るのに保育士が抱っこをしたり、走ってきた所を高い高いで受け止めたり…戸外に限らず、室内でも一本橋こちょこちょ等のスキンシップをとるようにしています。スキンシップをとることは子ども達の安心に繋がってきます。一人ひとりが安心して園生活を送れるように関わっていきたいと思います。ご家庭でも忙しい合間の少しの隙間時間にギュッと抱きしめる等のスキンシップをとってみてはいかがでしょうか。子ども達の明日へのパワーになること間違いなしです！

食事

食事を配膳すると途端に静かになる子ども達。モグモグと口を動かし、一生懸命食べています。真剣さがとても可愛らしいですね。ご家庭で大人にとっては困ってしまう場面もあるかと思いますが、まずは楽しい雰囲気の中、食べるということを大事にしています。“食事は楽しい時間”ということを感じてくれているなら、今後に繋がる時間になっていることと思います。

感染症情報

軟便のお子様が増えています。体調の変化にご留意下さい。



室内遊び

絵本のお気に入りには【いないいないばあ】。真剣に見たり、「ばあ」と真似っこしたり、大笑いしたりと可愛い反応を見せてくれます。言葉を理解し始め、絵本を見るのが楽しい様子が伝わってきます。この時期の言葉の成長は、月齢や個々で大きく違います。一人ひとり違って良い部分でもあるので、焦らずに見守って頂きたいと思います。言葉を習得する時期はそれぞれですが、どの子にも多くの語り掛けが大切です。少しずつ覚えた言葉の話そうとする子、保育士の言葉を模倣する子、気持ちを視線や態度で表現する子…どの子にも、まだまだ言葉にならない思いがある時期です。その言葉にならない思いを言葉にして代弁し、子ども達の気持ちに共感することが大事だと思っています。一人ひとりの気持ちに寄り添った言葉掛けが、言葉の成長に繋がると良いなと思い保育をしています。

健康

オムツ替えをしようとする姿が少しずつ見られています。肌着がロンパースタイプよりもセパレートタイプですと、自分で着脱しやすく、達成感を味わいやすいと思います。ハイハイで移動する子、身体をかきやすい子はロンパースタイプでかまいません。一人ひとりの様子に合った時期に肌着の移行を検討して頂けたらと思います。いつ変えれば良いかわからない…という方は、いつでも保育士にご相談下さい。

